

令和元年 諏訪二葉高校伊那支部総会報告

風の音にも秋の気配を感じる長月は9月28日(土)、中坪支部長はじめ役員・同窓生の皆様12名のご出席をいただき、守屋郁男校長、本部役員も同席させていただく中、令和元年諏訪二葉高校伊那支部総会が、宮田村のスリランカレストラン「アルッガマゲ」にて催されました。

中坪支部長からの挨拶に続き、旧年度の事業報告、会計報告(中間報告)の報告のあと、今回の会場である「アルッガマゲ」オーナー夫人アルッマガゲ幸子さんによる紅茶セミナーが行われました。

スリランカ(旧セイロン)はご存知の通り紅茶の産地として古くから知られた国ですが、同時に様々なスパイスの産地でもあります。古来から伝わるアーユルヴェーダに基づくスパイスの効果的な使い方等を踏まえた丁寧な説明を伺いながら、少人数のグループに分かれて、指導に従ってポットで紅茶を淹れてみました。茶葉の選び方はもとより、お湯の沸かし方から温度・蒸らし時間等、細やかな気遣いとともティーカップに注がれたお茶の香り高かったこと。複数の茶葉による試飲も貴重な体験でした。

紅茶だけでなく多くのスパイスの様々な薬効を伺い、今までとは違う紅茶の楽しみ方を知る良い機会になりました。

1時間ほどのセミナーのあとは、お集まりいただいた同窓生の皆さんの自己紹介や近況報告を伺いながら、スリランカ・カレーのランチをいただきました。自由な時間ができたからと、長年楽しんでいらした合唱の経験をもとに音楽療法士として活躍していらっしゃる先輩をはじめ、皆様それぞれ地域に根差した活動で社会に貢献しているとお話を伺うにつけ、ここに二葉生あり！と誇らしく思うところでありました。最後には、同窓生のおひとりが持ち込んでくださったキーボード伴奏で、校歌と「白き翼」を歌い和やかな裡に閉会となりました。

今回は富士見支部総会と日程が重なり、出席が叶わなかった同窓会会長岸に代わりまして、副会長の武藤が出席させていただきました。伊那谷の地において二葉高校の伝統を守り続けてこられた諸先輩、その伝統を引き継がれてゆく新しい役員、同窓生の皆様のおかげで、心に残る支部総会となりましたことを心より感謝いたします。

副会長 武藤桂子記